

# 日本土壌肥料学会 2019年度静岡大会プログラム

会 期	2019年9月3日(火)～9月5日(木)	
会 場	静岡大学農学部	
口頭発表	9月3日(火)	9:00～16:00
	9月4日(水)	9:00～11:45
	9月5日(木)	9:00～15:45
ポスター発表	9月3日(火)	15:30～17:00 ポスター1分間紹介
	9月3日(火)	17:00～18:00
	第1、第2両部門の全て、第4-3、第7-1、第8-1各副部門	
	9月5日(木)	11:00～12:00
	第3、第5、第6、第9各部門の全て、第4-1、第4-2、 第4-4、第7-2、第8-2各副部門	
高校生による研究発表会	9月3日(火)	13:00～14:00 発表
	9月3日(火)	16:30～17:00 講評・表彰式
授賞式・記念講演等	9月4日(水)	13:30～17:30
シンポジウムⅠ	9月4日(水)	9:00～12:00(第4,7,8部門)
シンポジウムⅡ	9月5日(木)	13:30～16:30(第3,4,6,7,8部門)
シンポジウムⅢ	9月4日(水)	9:00～12:00(第6,7,8部門)
公開シンポジウムⅣ	9月5日(木)	13:30～16:30(第4部門)
シンポジウムⅤ	9月5日(木)	13:30～16:30(第1,6部門)
シンポジウムⅥ	9月5日(木)	13:30～16:30(第1,2,3,8部門)
懇親会	9月4日(水)	18:30～20:30(会場:ホテルアソシア静岡)
土壌肥料若手の会	9月2日(月)	14:00～17:15 講演会
	9月2日(月)	17:30～20:00 交流会
エクスカージョン	9月6日(金)～9月7日(土)(1泊2日)静岡県下	

月 日	9月3日(火曜日)		
会 場	A 306(講義室3)	B 309(講義室1)	C 310(講義室2)
部 門	8	4	6
9:00 } 9:15	<b>8-2-1</b> 多収米栽培水田における稲わらの秋すき込みと石灰窒素施用によるメタン放出の抑制 ○高階史章 他6名	<b>4-1-1</b> シロイヌナズナの窒素栄養飢餓応答に関わるABCタンパク質の機能解析 ○櫻庭康仁 他3名	<b>6-2-1</b> さつまいも栽培が土壌物理性に与える影響 ○藤井はるか 他2名
9:15 } 9:30	<b>8-2-2</b> アナカルド酸の添加による水田メタン排出削減の可能性 ○南川和則	<b>4-1-2</b> シロイヌナズナ硝酸応答性転写因子NLP2のNLP7とは異なる役割 ○小西美穂子 他2名	<b>6-2-2</b> Transparent plastic mulching effects on soil compaction within deeper soil layers ○Jordan White Springer 他2名
9:30 } 9:45	<b>8-2-3</b> メタン排出量の水稲品種間差と水田土壌溶液中のガス・鉄イオン濃度との関係 ○常田岳志 他2名	<b>4-1-3</b> 多品種トランスクリプトームを利用したイネにおける窒素条件を反映した転写制御ネットワークの解析 ○植田佳明 他7名	<b>6-2-3</b> 簡易土壌pHおよびEC測定法の検討 ○中西 充 他1名
9:45 } 10:00	<b>8-2-4</b> 肥料連用と土地利用の違いが土壌中の温室効果ガス生成と微生物バイオマスに及ぼす影響 ○犬伏和之 他3名	<b>4-1-4</b> 遺伝子組換え隔離ほ場におけるRubisco過剰生産イネのバイオマス生産、窒素利用および収量解析 ○尹 棟敬 他12名	<b>6-2-4</b> クエン酸水溶液を用いた非黒ボク土壌の多成分同時抽出法の検討 ○尾崎洋輔 他2名
10:00 } 10:15	<b>8-2-5</b> 菌食性ササダニによる農耕地土壌からのN <sub>2</sub> O発生削減(I):ココナッツピート施用圃場における発見 ○白鳥 豊 他3名	<b>4-1-5</b> 茶樹のテアニン生成における窒素栄養応答 ○山下寛人 他2名	<b>6-2-5</b> ブルキナファソ産リン鉱石を用いた新規リン酸肥料の畑地土壌への施肥効果 ○岩崎真也 他4名
10:15 } 10:30	<b>8-2-6</b> 菌食性ササダニによる農耕地土壌からのN <sub>2</sub> O発生削減(II):室内系土壌マイクロズムによる証明 ○申 浩洋 他4名	<b>4-1-6</b> イネ根から吸収したリン酸の導管液輸送機構の解析 ○渡戸捷平 他3名	<b>6-2-6</b> Effects of Cover Crop Species on Stability and Quality of Soil Aggregates and Mineral Nutrient Contents of Komatsuna ( <i>Brassica rapa</i> var. <i>Perviridis</i> ) ○Khin Thawda WIN 他4名
10:30 } 10:45	<b>8-2-7</b> 初秋まきキャベツ栽培における残渣すき込み時の気温と土壌由来一酸化二窒素発生量の関係 ○上園一郎 他3名	<b>4-1-7</b> イネ生葉における過剰なリン酸蓄積が枯死を引き起こすメカニズムの解明 ○高木大輔 他5名	<b>6-2-7</b> マメ科作物の特異的なリン可給化能に土壌の化学性が与える影響の解明・第3報 ○杉原 創 他4名
10:45 } 11:00	<b>8-2-8</b> 施肥窒素の流亡によるN <sub>2</sub> O間接発生の排出係数の推定 ○秋山博子 他2名	<b>4-1-8</b> 高親和性カリウムトランスポーターHAK5のカリウム濃度に応答した分解 ○高野順平 他3名	<b>6-2-8</b> ブロッコリー根こぶ病へソディウムマニュアルの検証 ○藤澤 遥 他3名
11:00 } 11:15	<b>8-2-9</b> 飼料畑の温室効果ガス収支に及ぼす有機物施用の影響解析 ○森 昭憲	<b>4-1-9</b> ナトリウム高吸収イネ系統の低カリウム土壌での栽培試験 ○大場浩介 他4名	<b>6-2-9</b> タンザニア畑作地における混作時の根圏共有が作物のリン吸収能に与える影響の解明 ○河下知美 他4名
11:15 } 11:30	<b>8-2-10</b> 北海道の6年放棄/休耕/農地再生区画における植生と土壌炭素量の変化 ○下田星児	<b>4-1-10</b> 菌根形成植物のリン酸獲得トレードオフを制御する分子ネットワーク ○丸山 隼人 他5名	<b>6-2-10</b> 西アフリカ半乾燥地でのソルガムとササゲの土壌環境応答の違い ○伊ヶ崎健大 他6名
11:30 } 11:45	<b>8-2-11</b> 西日本を対象とした森林から農地への土地利用変化に伴う土壌炭素量変動の評価—Equivalent soil mass法の適用— ○古賀伸久 他4名	<b>4-1-11</b> ルーピンを示す低リン耐性形質の品種間差 ○和崎 淳 他3名	<b>6-2-11</b> ケニアの高地バレイシヨ生産地域における土壌の特性と肥沃度からみた生産性向上の可能性 ○木下林太郎 他3名
11:45 } 12:00	<b>8-2-12</b> タイの長期連用畑の6試験圃場における土壌有機炭素含有率の変化 ○松本成夫 他4名	<b>4-1-12</b> ケイ酸輸送体Lsi1の極性制御に関わる領域の同定 ○小西範幸 他1名	<b>6-2-12</b> Carbon dynamics and Soil fauna and bacterial community changes after organic amendments in Zambia ○濱本 亨 他3名
12:00 } 13:30			

9月3日(火曜日)				月 日
D 405 (講義室 7)	E 406 (講義室 6)	F 407 (情端末 2)	G 504 (講義室 9)	会 場
7	1	6	3	部 門
<b>7-1-1</b> 牛ふん堆肥と化学肥料の併用下における根圏作用による養分吸収特性 ○加藤雅彦 他 1 名	<b>1-1-1</b> 非線形フィッティング手法を用いた Rhoadesモデルのパラメータの簡易決定による高精度土壌溶液電気伝導度モニタリング手法の開発 ○岩田幸良 他 2 名	<b>6-3-1</b> 半促成栽培ナスにおける日焼け果発生と土壌水分保持特性の関係 ○アクリッシュ穂波 他 4 名		9:00 } 9:15
<b>7-1-2</b> 未利用資源由来燃焼灰中のリンを中心とした養分供給特性 ○鈴木智也 他 1 名	<b>1-1-2</b> 団粒三次元構造内部の有機物を評価する手法の改良:物理構造と炭素動態の関係解明に向けて ○荒井見和 他 7 名	<b>6-3-2</b> 高知県における有機栽培圃場の土壌実態-その1(調査1年目)- ○速水 悠 他 1 名	<b>3-1-1</b> AmpRを介して温度により制御されるセスバニア根粒菌の宿主殺傷能と抗生物質耐性 ○青野俊裕 他 3 名	9:15 } 9:30
<b>7-1-3</b> 家畜ふん堆肥に対する食品廃棄物・下水汚泥由来堆肥の理化学的特性 ○坂本雄太郎 他 2 名	<b>1-1-3</b> 団粒構造形成による土壌有機物の安定化:比重分画・分散処理、同位体分析から得られる証拠 Evidence of soil organic matter stabilization induced by aggregation ○和頼朗太	<b>6-3-3</b> 窒素施肥時期がモモの発芽等に及ぼす影響 ○井上博道 他 1 名	<b>3-1-2</b> ヘアリーベッチの冬期栽培が後作ダイズの根圏環境に及ぼす影響 ○山崎真一 他 6 名	9:30 } 9:45
<b>7-1-4</b> もみから灰の活性と施用条件がケイ酸の肥効に及ぼす影響 ○伊藤純雄	<b>1-1-4</b> 出穂期前後に4日間落水を3回行うことによる玄米中ヒ素濃度の抑制 ○中村 乾 他 26 名	<b>6-3-4</b> 毛干園における長期的な牛ふん堆肥施用が樹体生育や土壌特性に及ぼす影響 ○加藤 治 他 2 名	<b>3-1-3</b> ダイズ地上部由来物質SNRS1 が根粒形成数に与える影響 ○小松 悠 他 8 名	9:45 } 10:00
<b>7-1-5</b> 燃焼時間の制御による粉殻の燃料としての可能性について ○河端美玖 他 4 名	<b>1-1-5</b> 水管理の異なる水田土壌の気相率・Ehおよび溶存ヒ素濃度の予測モデル ○加藤英孝 他 6 名	<b>6-3-5</b> 大阪府内におけるワイン用ブドウ園の土壌特性(第1報)土壌理化学性とブドウ品質の関係 ○佐野修司 他 3 名	<b>3-1-4</b> ダイズの根粒・菌根共生系におけるRBOH遺伝子の発現 ○嵯峨可那子 他 1 名	10:00 } 10:15
<b>7-1-6</b> 中生タマネギにおける亜リン酸肥料の収量およびべと病への影響 ○齋藤 晶	<b>1-1-6</b> 緩効性肥料による水田からの窒素流出軽減効果 ○箭田佐衣子 他 5 名	<b>6-3-6</b> 大阪府内におけるワイン用ブドウ園の土壌特性(第2報)土壌物理性とブドウ品質の関係 ○三浦季子 他 4 名	<b>3-1-5</b> RNAi 法を用いた <i>GmMT1</i> の発現抑制がダイズの根粒着生および菌根形成に及ぼす影響 ○坂本一憲 他 5 名	10:15 } 10:30
<b>7-1-7</b> 石灰窒素施用が施肥リン酸利用率向上に係わる一考察 ○六本木和夫	<b>1-1-7</b> 微生物燃料電池を用いた底質および水田土壌からの栄養塩溶出抑制 ○前田守弘 他 1 名	<b>6-3-7</b> 柑橘(特に温州みかん)栽培園での草生栽培における草種の適応性と影響、経過 ○岩本 治	<b>3-1-6</b> 温度がアーバスキュラー菌根共生系の獲得するリン形態に与える影響 ○宮島奈々子 他 3 名	10:30 } 10:45
<b>7-1-8</b> 茶園施肥体系における石灰窒素の活用と兼用型土壌反転機との組合せ ○中村憲知 他 1 名	<b>1-1-8</b> 土壌-水稲系での放射性セシウムの移行を規定する物理化学的および時間的要因 ○吉川省子 他 2 名	<b>6-1-1</b> 定点調査試料からみた水田土壌の可給態硫黄の変化-岩手県と広島県における測定事例- ○菅野均志 他 3 名	<b>3-1-7</b> アーバスキュラー菌根菌 <i>Rhizophagus clarus</i> における生態型分化:地理的隔離株間における酸性応答遺伝子群の極端な不一致 ○江沢辰広 他 5 名	10:45 } 11:00
<b>7-1-9</b> 水稲の硫黄欠乏に対する石膏施用の効果 ○中川進平 他 4 名	<b>1-1-9</b> 放射性セシウム対策実施水田におけるカリウム収支 ○錦織達啓 他 2 名	<b>6-1-2</b> 栃木県水田土壌の硫黄肥沃度について-栃木県水田土壌の硫黄の実態- ○大島正稔 他 1 名	<b>3-1-8</b> 農耕地管理強度に沿ったアーバスキュラー菌根菌群集の入れ子構造:その生存戦略とインパクト ○丹羽理恵子 他 15 名	11:00 } 11:15
<b>7-1-10</b> 未利用資源由来堆肥を施肥した土壌からの無機塩類の移動特性 ○佐俣莉子 他 1 名	<b>1-1-10</b> シカと皆伐が森林のリン循環に及ぼす影響の評価 ○村下七海 他 4 名	<b>6-1-3</b> 栃木県水田土壌の硫黄肥沃度について 2 微量金属硫化物生成と硫黄の可給性予測 ○亀和田國彦 他 1 名	<b>3-1-9</b> 野外における植物・菌根菌の環境応答 - フィールドトランスクリプトミクスが語る頑強かつ柔軟な制御- ○杉村悠作 他 3 名	11:15 } 11:30
<b>7-1-11</b> CE-C <sup>13</sup> Dを用いた土壌抽出液中のアニオン分析手法の開発 ○梶俊太郎 他 7 名	<b>1-1-11</b> 国内フードチェーンで発生する有機性廃棄物中の肥料成分の賦存量把握 ○三島慎一郎 他 3 名	<b>6-1-4</b> 湛水土壌への亜鉛もしくは銅の添加と水稲の硫黄吸収との関係 ○瀧野百重 他 4 名	<b>3-1-10</b> 菌根経路からのリン酸獲得により発現誘導される植物の樹枝状態形成遺伝子群 ○浅枝諭史 他 3 名	11:30 } 11:45
<b>7-1-12</b> 木質バイオマス燃焼灰の肥料および微量成分の評価 ○平井敬三 他 3 名	<b>1-1-12</b> 食の栄養バランスと窒素フットプリントの関係 ○江口定夫 他 2 名	<b>6-1-5</b> 可給態硫黄と可溶性金属レベルの異なる水田土壌における水稲の石膏施与への応答 ○鈴木彩乃 他 3 名		11:45 } 12:00
				12:00 } 13:30

月 日	9月3日(火曜日)		
会 場	A 306(講義室3)	B 309(講義室1)	C 310(講義室2)
部 門	8	4	6
13:30 } 13:45	<b>8-2-13</b> 水管理の異なる東南アジア水田からの温室効果ガス排出量を予測するためのプロセスベースモデルの検証 ○早野美智子 他3名	<b>4-1-13</b> イネコアコレクションにおけるイオノーム形質の多様性解析 ○田中伸裕 他5名	<b>6-2-13</b> 岩手県の畑土壌における35年間の有機物施用と化学性の変化～土壌環境基礎調査及び土壌機能実態モニタリング調査から～ ○高橋良学 他2名
13:45 } 14:00	<b>8-2-14</b> 土壌炭素動態モデル(RothC)を用いたフィリピン長期連用水田における土壌炭素の変動評価 ○松浦庄司 他2名	<b>4-1-14</b> Sulfur Deficiency Induced Phosphate Uptake, Translocation, and Accumulation in <i>Arabidopsis thaliana</i> ○Alaa M R Allahham	<b>6-2-14</b> 神奈川県内農耕地土壌の診断データの解析 ○竹本 稔 他1名
14:00 } 14:15	<b>奨励賞</b> マルチスケールにおける土壌の炭素・窒素循環の空間変動要因の解明および定量評価に関する研究 ○仁科一哉	<b>奨励賞</b> 大規模塩基配列解析技術を利用した植物の低栄養条件に対する適応機構の研究 ○西田 翔	<b>6-2-15</b> 東京都の農耕地土壌の現状 ○坂本浩介 他2名
14:15 } 14:30			<b>6-2-16</b> 沖縄県のサトウキビ畑土に蓄積するリンの量および形態の解析～土壌型に着目して～ ○野々村詠人 他6名
14:30 } 14:45	<b>技術奨励賞</b> 農耕地における放射性セシウムおよび土壌残留性農薬による作物汚染低減技術の開発 ○齋藤 隆	<b>奨励賞</b> 鉄・亜鉛栄養価の高いイネの作出に関する研究 ○増田寛志	<b>6-2-17</b> 新潟砂丘において異なる肥培管理がトモロコシの生育に及ぼす影響～有機質肥料と化学肥料の比較～【第二報】 ○柴田 誠 他8名
14:45 } 15:00			<b>6-2-18</b> 火山灰畑土壌における三要素と稲わら堆肥の長期連用試験 ○齋藤龍司 他7名
15:00 } 15:15	<b>技術奨励賞</b> 家畜糞堆肥化施設由来臭気の生物脱臭技術の高度化に向けた研究開発 ○安田知子	<b>奨励賞</b> イネのアルミニウム耐性と鉄輸送に関するMATE 遺伝子の機能解析 ○横正健剛	<b>6-2-19</b> 家畜ふん堆肥を連用した砂質畑土壌における有効陽イオン交換容量の変化 ○中村嘉孝 他3名
15:15 } 15:30			<b>6-2-20</b> 南インドの畑作地におけるバイオ炭の施用が土壌の窒素動態および作物生育へ与える影響の解明 ○関真由子 他4名
15:30 } 15:45	<b>ポスター紹介 8部門 49題</b>	<b>ポスター紹介 4部門 49題</b>	<b>技術奨励賞</b> 施設栽培果菜類における灌水および施肥の適正管理技術の確立 ○速水 悠
15:45 } 16:00			<b>ポスター紹介 5・6・9部門 6題, 21題, 1題</b>
16:00 } 17:00			
17:00 } 18:00	<b>ポスター発表 第1、第2両部門の全て、第4-3、第7-1、第8-1各副部門</b>		

9月3日(火曜日)				月 日
D 405 (講義室 7)	E 406 (講義室 6)	F 407 (情端室 2)	G 504 (講義室 9)	会 場
7	2	6	3	部 門
<b>7-1-13</b> 有機肥料を原料としたバイオ炭からの栄養塩の溶出評価 ○姫野正俊 他 1 名	<b>2-1-1</b> 沖縄島大浦湾マングローブ林地形成過程についての一考察 ○金城和俊	<b>6-1-6</b> 水田土壌可給態窒素の簡易・迅速測定による適正施肥技術の開発 第10報 COD簡易測定キットの仕様変更が簡易判定に及ぼす影響 ○山口典子 他 2 名	<b>3-1-11</b> 糸状菌 <i>Penicillium</i> sp. EU0013株が各種キャベツ品種に示す生育促進効果 ○桑原七海 他 2 名	13:30 } 13:45
<b>7-1-14</b> 混合堆肥複合肥料の水分の違いがバクテリンドした被覆尿素の窒素溶出に及ぼす影響 ○森次真一 他 7 名	<b>2-1-2</b> 連用年数が異なる中国水田土壌における土壌有機炭素の蓄積形態と分解性 ○渡邊 彰 他 3 名	<b>6-1-7</b> 水田土壌可給態窒素の簡易・迅速測定による適正施肥技術の開発 ~第11報 COD測定用試薬セットの仕様変更に伴う水田および畑土壌可給態窒素の簡易迅速評価への影響~ ○和田 巽 他 4 名	<b>3-1-12</b> 細菌と真菌の細胞壁に由来する土壌中のN-アセチルグルコサミンの定量の試み ○齋藤明広 他 2 名	13:45 } 14:00
<b>7-1-15</b> 牛ふん堆肥ベースの混合堆肥複合肥料の製造法の検討 ○中村明弘 他 2 名	<b>2-1-3</b> 北海道の火山性草地土壌における土壌炭素含量に影響する要因の検討 ○佐々木章晴	<b>6-1-8</b> 水田土壌可給態窒素の簡易・迅速測定による適正施肥技術の開発 ~第12報 アスコルビン酸添加水抽出法で可給態窒素を予測するために最適な温度と添加量の検討~ ○東 英男 他 3 名	<b>3-1-13</b> ホスファターゼを用いた畑土壌中リンの生物利用性評価 ○國頭 恭 他 5 名	14:00 } 14:15
<b>7-1-16</b> 水田土壌の可給態窒素と電気伝導度との関係 ○西田瑞彦 他 3 名	<b>2-1-4</b> 火山灰土壌におけるプライミング効果の温度依存性 ○飯村康夫 他 3 名	<b>6-1-9</b> 岩手県の水田土壌における35年間の施肥管理と化学性の変化~土壌環境基礎調査及び土壌機能実態モニタリング調査から~ ○葉上恒寿 他 2 名	<b>3-1-14</b> 土壌微生物群集の環境応答を予測することは可能なか-窒素応答を例に- ○磯部一夫	14:15 } 14:30
<b>7-1-17</b> 乾田直播栽培による業務用水稲の多収のための施肥 -追肥時期が収量に及ぼす影響- ○小島 誠 他 1 名	<b>2-1-5</b> 青海チベット高原における草地土壌腐植酸の特性と貯留・生成メカニズムの考察 ○藤嶽暢英 他 5 名	<b>6-1-10</b> フィリピンの水田土壌における「緑の革命」後50年間の肥沃度変化-因子分析による総合評価- ○正井藤子 他 6 名	<b>3-1-15</b> Evaluation of soil fungal community from the whole Japan fruit orchards ○Andre Freire Cruz 他 2 名	14:30 } 14:45
<b>7-1-18</b> プラウ耕鎮圧体系乾田直播栽培におけるイネ多収品種の生育・収量および窒素吸収特性 ○浪川茉莉 他 3 名	<b>2-1-6</b> 固体担体培養系におけるAI-腐植酸複合体の微生物褪色特性 ○柳由貴子 他 3 名	<b>6-1-11</b> 熱帯アジアの水田土壌における「緑の革命」後50年間の肥沃度変化-タイ・フィリピン・マレーシアの比較- ○矢内純太 他 15 名	<b>3-1-16</b> 農耕地土壌におけるイノシトールリン酸化性細菌の分布 ○海野佑介 他 3 名	14:45 } 15:00
<b>7-1-19</b> Grain yield and N use efficiency of newly bred large panicle typed forage rice, LTAT29 as influenced by biochar and biofertilizer under different N application modes ○Khin Thuzar Win 他 4 名	<b>2-1-7</b> 高速液体クロマトグラフィーによる土壌腐植酸中の暗色成分の分離 ○青山正和	<b>6-1-12</b> ベトナム、メコンデルタにおける雨季作低収量の原因解明 ○渡辺 武 他 6 名	<b>3-1-17</b> タンザニアにおける土壌微生物の多様性と炭素利用効率の関係 ○小林花奈 他 8 名	15:00 } 15:15
<b>7-1-20</b> Combination effects of bamboo biochar and different types of fertilizers on the Growth and yield of radish and soil properties ○BASIM ALHASSAN 他 2 名	<b>2-1-8</b> 土壌中のペリレンキノン色素の構造解析 ○小林孝行 他 3 名	<b>6-1-13</b> 沖積平野における土壌の可給態養分の空間変動に及ぼす地質と地形の影響 ○相谷真智子 他 3 名	<b>3-1-18</b> 細菌バイオマスを利用する土壌繊維毛虫群集の構成に対する温度の影響-Stable Isotope Probing法による解析 ○大島崇彰 他 2 名	15:15 } 15:30
<b>7-1-21</b> 水田におけるクリンカー茶殻堆肥の残効評価 ○白石 航 他 6 名	<b>奨励賞</b> 還元状態の土壌における有害元素の溶出・不溶化に関する研究 ○須田碧海	<b>6-1-14</b> 携帯型NDVI測定機によるNDVI値を用いた多収米生育診断の実証 ○金田吉弘 他 3 名	<b>3-1-19</b> 土壌微生物が昆虫に及ぼす生態系サービスの解明 ○伊藤英臣 他 1 名	15:30 } 15:45
<b>ポスター紹介 7部門 24題</b>		<b>6-1-15</b> 迅速評価法による有機栽培と慣行栽培水田における土壌可給態窒素の評価とUASリモートセンシングによるマップ化 ○佐藤(金子)のぞみ 他 4 名		15:45 } 16:00
	<b>ポスター紹介 1・2部門 24題・9題</b>	<b>ポスター紹介 3部門 27題</b>	16:00 } 17:00	
<b>ポスター発表 第1、第2両部門の全て、第4-3、第7-1、第8-1各副部門</b>				17:00 } 18:00

月 日	9月4日(水曜日)			
会 場	A 306(講義室3)	B 309(講義室1)	C 310(講義室2)	D 405(講義室7)
部 門	8	4	6	4
9:00 } 9:15	<b>8-1-1</b> K減肥水田土壌での放射性Csの玄米への移行抑制に必要な非交換態K量の検討 ○黒川耕平 他6名	<b>4-2-1</b> ソラマメ子実肥大期の気温と肥大速度とホウ素含有率の関係 ○橋本直也 他2名	<b>6-1-16</b> 水稲乾田直播栽培実施圃場の排水性と冬作への影響 ○中野恵子 他2名	<b>4-3-1</b> オジギソウのアルミニウム耐性に対するリンの関与の可能性 ○野口 章 他3名
9:15 } 9:30	<b>8-1-2</b> 牧草中放射性セシウム濃度の経時変化と土壌の放射性セシウム存在画分からの移行推定 ○山田大吾 他4名	<b>4-2-2</b> イネのニコチアミン排出型トランスポーターENA1の植物における機能の解析 ○野副朋子 他5名	<b>6-1-17</b> 日本の転換畑の粒径区分および土性区分からUSDA区分への読み替えと水分恒数の推定 ○高橋智紀 他15名	<b>4-3-2</b> 嫌気条件においてヒ素集積が抑制されるイネ変異体の解析 ○石川 寛 他3名
9:30 } 9:45	<b>8-1-3</b> 土壌から牧草とイネへの放射性セシウムの移行実験と移行モデルの評価 ○植松慎一郎 他3名	<b>4-2-3</b> イネ転写因子OsBHLH058、OsBHLH059は鉄欠乏応答を正に制御する ○小林高範 他3名	<b>6-1-18</b> 堆肥施用が土壌孔隙特性に及ぼす影響の解明とダイズ生育・収量に及ぼす効果 ○大野智史 他2名	<b>4-3-3</b> Functional analysis of a QTL gene controlling Cd accumulation in barley ○雷 貴傑 他4名
9:45 } 10:00	<b>8-1-4</b> イネ玄米中の放射性セシウム含量品種間差をもたらす原因遺伝子 ○大津(大鎌)直子 他8名	<b>4-2-4</b> Iron biofortification of rice by the introduction of <i>GmFerritin</i> , <i>HvNAS1</i> , <i>OsYSL2</i> and mugeinic acid synthase gene ( <i>IDS3</i> ) with rice <i>OsALS</i> as a marker gene ○Aung May Sann 他3名	<b>6-1-19</b> 土壌中の交換性CaとMgの比がダイズの収量と形質に及ぼす影響 ○高本 慧 他2名	<b>4-3-4</b> Mapping of a QTL gene for As accumulation in rice ○王 珮同 他1名
10:00 } 10:15	<b>8-1-5</b> ダイズの放射性セシウムの吸収に関する遺伝因子の探索その1:QTL-seq解析によるダイズの放射性セシウム吸収に関する遺伝子領域の解明 ○宇多真悟 他5名	<b>4-2-5</b> HRZノックダウンと三価鉄還元酵素の組み合わせによる新規鉄欠乏耐性イネの創出 ○前田慶介 他6名	<b>6-1-20</b> 石川県水田転作大豆での有機物施用の効果 ○赤桐さやか 他4名	<b>4-3-5</b> 出穂前後各3週間の作土内水位と玄米無機ヒ素およびカドミウム濃度の関係ー同一圃場における5年間の結果ー ○本間利光 他5名
10:15 } 10:30	<b>8-1-6</b> ダイズの放射性セシウムの吸収に関する遺伝因子の探索 その2:カリウム施用の有無で発現が変動する遺伝子に関して ○横山 正 他7名	<b>4-2-6</b> CRISPR/Cas9によるユビキチンリガーゼ <i>OsHRZ</i> 変異イネの作出と解析 ○室田明星 他2名	<b>6-1-21</b> 緑肥利用超低投入持続水田における土壌養分動態と水稲による養分吸収 ○細谷和宏 他7名	<b>4-3-6</b> カドミウム添加培養液で生育させたダイズにおけるカドミウムの導管移行 ○渡邊浩一郎 他2名
10:30 } 10:45	<b>8-1-7</b> 鉄資材施用および出穂前後の水管理による玄米ヒ素濃度低減効果の要因解明 ○松本真悟 他2名	<b>4-2-7</b> イネの鉄分配に関するOsOPT7の詳細解析 ○山地直樹 他3名	<b>6-1-22</b> 客土により貧栄養となった福島県富岡町の水田土壌における緑肥の分解とそれに伴う微生物活性 ○光田侑子 他3名	<b>4-3-7</b> 根粒菌生と菌根形成がカドミウムストレス下におけるダイズの重金属耐性遺伝子 <i>GmhPCS1</i> の発現に及ぼす影響 ○柏木咲乃 他1名
10:45 } 11:00	<b>8-1-8</b> 水稲における土壌Mn可給性評価手法の検討ーカドミウム低吸収品種と通常品種の比較ー ○齋藤 黎 他9名	<b>4-2-8</b> Global transcriptomic analysis on Si-improved mineral balance in rice ○黄 勝 他2名	<b>6-1-23</b> 飼料用米栽培におけるリン酸・カリウム肥料としての鶏ふん焼却灰の利用 ○佐々木由佳 他3名	<b>4-3-8</b> ファイトケラチン担持ピーズを用いたファイトケラチンの金属結合性の定量解析 ○浦口晋平 他6名
11:00 } 11:15	<b>8-1-9</b> 各種ケイ酸資材の溶出特性と玄米のヒ素・カドミウム低減効果 ○竹中 弘 他7名	<b>4-2-9</b> イネにおけるホウ素の優先的分配に関わる輸送体の更なる解析 ○馬 建鋒 他3名	<b>6-1-24</b> 休閑期雑草働き込みにより増加した黒ボク土水田有効態リン酸のHedley法画分 ○櫻岡良平 他4名	<b>4-3-9</b> アポプラストROS計測による植物のストレス応答の分析 ○木公悠斗 他6名
11:15 } 11:30	<b>8-1-10</b> 全国に分布する火山灰土壌の分類とそれらの有する重金属吸着能に関して ○岩崎航也 他2名	<b>4-2-10</b> ホウ酸トランスポーターBOR1によるホウ酸感知 ○細川卓也 他4名	<b>6-1-25</b> Response of rice growth, yield and greenhouse gas emission as affected by different N fertilizers and water regimes ○Hmwe Kyu Kyu 他2名	<b>4-3-10</b> 肥料液の循環と黄銅腐食に関する研究 ○関 康智 他6名
11:30 } 11:45	<b>8-1-11</b> 金属キレート剤及び植物生長調整剤を用いたファイトレメディエーションの効率化 ○茶谷友貴 他2名			
11:45 } 12:00				
12:00 } 13:30				
13:30 } 18:00	<b>授賞式・記念講演(グランシップ)</b>			

9月4日(水曜日)					月 日		
E 406 (講義室 6)	F 407 (情端室 2)	G 504 (講義室 9)	J 共通 B 棟 401	K 共通 B 棟 501	会 場		
2	9	3			部 門		
<b>2-1-9</b> 農地におけるマイクロプラスチックの実態把握と分析方法の検討 ○勝見尚也 他 6 名		<b>3-1-20</b> 炭素・窒素・リン源添加後の水田土壌中の微生物バイオマスカリウムの経時変化 ○床並佳季 他 3 名			9:00 } 9:15		
<b>2-1-10</b> 福島県内農耕地土壌におけるセシウム133固定ポテンシャルと粘土鉱物組成 ○加藤 拓 他 8 名	<b>9-2-1</b> 近代日中土壌学交流の先駆者(2) 川瀬金次郎(その1)日中間にあった土壌学の研究人生 ○程 為国	<b>3-1-21</b> 田畑輪換が水田土壌中のメタン酸化菌およびアンモニア酸化菌の存在量に及ぼす影響 ○浅川 晋 他 8 名			9:15 } 9:30		
<b>2-1-11</b> 有機物除去に伴う放射性セシウム吸着能の変化 ○中尾 淳 他 7 名	<b>9-2-2</b> 旅を内包した水田社会における景観多様性とニッチ創造 - 植物型安定社会を基とした「豊かさ」・「肉食」・コンベ・混乱への振動 ○長縄貴彦 他 1 名	<b>3-1-22</b> AWD節水水田土壌中の微好気性鉄酸化細菌群集の動態 ○渡邊健史 他 5 名			9:30 } 9:45		
<b>2-1-12</b> 土壌中肥料由来リンの分布と化学形態:堆肥と化学肥料の比較 ○山口紀子 他 7 名	<b>9-2-3</b> 土壌は生きている 実証16:動物たちの土食 ○陽 捷行	<b>3-1-23</b> 緑肥利用超低投入持続型水田の土壌動物生態 ○永瀧 泰 他 2 名			9:45 } 10:00		
<b>2-1-13</b> 低地土のカリ供給能と流域の地質鉱物の関係(1)新潟県長岡地域と新発田地域の事例 ○久保寺秀夫 他 1 名	<b>9-2-4</b> 「ドベネックの最小養分樽」を紹介した農学校教師の船津常吉 ○土屋一成	<b>3-1-24</b> 猪苗代湖酸性流入河川のヨシ根圏土壌における土壌動物相 ○中村和徳 他 4 名			10:00 } 10:15		
<b>2-1-14</b> 湛水培養した黒ボク土における鉄鉱物の溶解特性 ○牧野知之 他 4 名	<b>9-2-5</b> 20世紀初頭の鹿児島県における土壌の変化と米収量の向上-薩南地域を中心に- ○永井リサ	<b>3-2-1</b> マルタニシが水田土壌の窒素無機化および水稲生育に及ぼす影響 ○中野雄登 他 6 名	【農研機構との共催】 シンポジウムⅠ 4, 7, 8 部門  気候変動型生理障害を 植物栄養の視点から考える	シンポジウムⅢ 6, 7, 8 部門  土壌肥沃度の長期的変動 の評価と管理 -パラダイムシフトの 時代に-	10:15 } 10:30		
<b>2-1-15</b> 農耕地土壌中の亜鉛および銅の生物可給性に対する有機質肥料と土壌有機物の相互作用 ○中丸(三ツ井) 康夫 他 4 名	<b>9-2-6</b> スチュワードシップはなぜ日本で育たないのか? - Stewardship とAnthrosol の考察 ○小野剛志	<b>3-2-2</b> 土壌微生物情報を利用した土壌還元消毒成否診断法の開発 ○李 哲煥 他 3 名			10:30 } 10:45		
<b>2-1-16</b> 生きた水田土壌を放射光で観る:元素の濃度分布と化学状態をマイクロスケールで直接観察する手法の確立 ○光延 聖 他 2 名	<b>9-1-1</b> 土壌教育の実践課題-小中高校における土壌教育の実践状況・内容の分析と課題 ○福田 直	<b>3-2-3</b> 有機質肥料活用型養液栽培技術を応用した病害抑止土壌の創出 ○篠原 信 他 6 名			10:45 } 11:00		
<b>2-1-17</b> 日本の土壌のランタノイド元素濃度 ○山崎慎一 他 3 名	<b>9-1-2</b> 生物基礎「生物の多様性と生態系」における土壌を教授する効果-高校生を対象とした学習展開例- ○家永佳帆織 他 2 名	<b>3-2-4</b> 環境に優しいダイズ根粒菌資材 ○南澤 究 他 6 名			11:00 } 11:15		
<b>2-1-18</b> マイクロ波プラズマ原子発光分光分析装置(MP-AES)を用いた土壌肥科学分野での元素分析(1)土壌分析での検討 ○木村和彦	<b>9-1-3</b> 土をどう伝えるか?-(3)総合的な学習の時間での取り組み事例 ○宮丸直子				11:15 } 11:30		
					11:30 } 11:45		
					11:45 } 12:00		
					12:00 } 13:30		
<b>授賞式・記念講演(グランシップ)</b>					13:30 } 18:00		

月 日	9月5日(木曜日)				
会 場	A 306(講義室3)	B 309(講義室1)	C 310(講義室2)	D 405(講義室7)	E 406(講義室6)
部 門	8	4	4	7	5
9:00 ~ 9:15	<b>8-1-12</b> 福島県内の水田におけるカリ収支とカリ集積量 ○藤村恵人 他6名	<b>4-1-15</b> 硫酸イオン輸送体SULTR2;1は転写因子SPL7の下流で銅欠乏耐性に寄与する ○丸山明子 他3名		<b>7-1-22</b> 基肥施用可能な硝酸化成抑制材入り流し込み施肥用肥料の開発 ○竹内 智 他2名	<b>5-1-1</b> 朝霧高原における富士溶岩台地上に生成した土壌の生化学的および土壌微細形態学的特徴 ○中塚博子 他1名
9:15 ~ 9:30	<b>8-1-13</b> 福島県内の農地における放射性物質に関する研究(第46報)-中山間地域における除染後水田での均平対策後の牛ふん堆肥による地力回復効果- ○松岡宏明 他4名	<b>4-1-16</b> 根域イオウ濃度がアブラナ科伝統野菜のイオウ含有量と硫酸イオントランスポーター遺伝子発現に与える影響-SULTR1グループおよびSULTR2;1遺伝子発現- ○諏訪絢風 他8名	<b>4-2-11</b> イネにおけるケイ素輸送モデルによる輸送体配置の影響分析 ○櫻井 玄 他7名	<b>7-1-23</b> 地力窒素を踏まえた施肥法開発に向けて-第4報-飛騨地域夏秋トマト産地土壌の簡易な窒素無機化モデルの構築 ○棚橋寿彦 他2名	<b>5-1-2</b> 日本の黒ボク土分布の最西端地域における土壌の特徴-長崎県五島列島福江島に分布する土壌- ○井上 弦 他1名
9:30 ~ 9:45	<b>8-1-14</b> 試験水田における灌漑水・間隙水中 <sup>137</sup> Cs濃度と変動要因 ○塚田祥文 他1名	<b>4-1-17</b> 葉緑体チラコイド膜光化学系I反応中心クロロフィルP700の酸化は、植物栄養素の欠乏がもたらす酸化障害を検知する生理マーカーである ○三宅親弘 他5名	<b>4-2-12</b> Fe欠乏のコムギのP700酸化システムによるROSに対する耐性の評価 ○中村仁哉 他3名	<b>7-1-24</b> 転作田における飼料用トウモロコシの二期作栽培に適した肥培管理方法の検討 ○上田直國 他2名	<b>5-1-3</b> 造成緑地における植栽年度と土壌特性の関係 ○川東正幸 他1名
9:45 ~ 10:00	<b>8-1-15</b> 熱帯の気温を模擬した培養試験によるマレーシア熱帯泥炭土壌の地目ごとの水溶性有機物および塩類元素の溶出変化 ○水木健介 他1名	<b>4-1-18</b> Cold-girdling法による光合成産物の篩管輸送の局所可逆的制御 ○尹 永根 他5名	<b>4-2-13</b> 菌根共生特異的なダイズ植物体イオノームの動態解析 ○今泉(安楽) 温子 他2名	<b>7-1-25</b> 露地レタスにおける地力窒素に基づいた適正施肥技術の現地検証 ○假屋哲朗 他3名	<b>5-1-4</b> 年輪を用いた凍土マウンド発達過程の復元と土壌炭素蓄積量の変動予測 ○藤井一至 他3名
10:00 ~ 10:15	<b>8-1-16</b> 高オゾン環境下で生産された落葉広葉樹の葉リター分解過程 ○小池孝良 他6名	<b>4-1-19</b> ローズマリーの成長および精油に及ぼす塩ストレスの影響 ○池内皓大 他3名	<b>4-4-1</b> 茶品評会における品質評価と主要成分の関係解析 ○児崎 章憲 他2名	<b>7-1-26</b> キャベツ根こぶ病対策としての高pH管理がサツマイモ収量等に及ぼす影響 ○相本涼子 他3名	<b>5-1-5</b> 土壌有機物の分解速度定数はどのように決まるのか?-2つのアプローチ(フィールド実測とラボラトリー・インキュベーション)を比較する- ○舟川晋也 他1名
10:15 ~ 10:30	<b>8-1-17</b> 周年マルチ点滴灌水同時施肥法を導入したカンキツ園での窒素溶脱試験 ○志村もと子 他6名	<b>4-1-20</b> トマトの気孔で発現するALMT輸送体の機能解 ○佐々木孝行 他3名		<b>7-1-27</b> 自然農法下での自家採種がニンジン発芽率、生育、収量に及ぼす影響 ○葛 蓉 他3名	<b>5-1-6</b> 地形因子を考慮した日本の泥炭・黒泥分類への提言 ○森下瑞貴 他1名
10:30 ~ 10:45	<b>8-1-18</b> GNSS田植機を用いた無落水湿水移植による水田排出負荷の抑制 ○近藤 正 他13名	<b>4-1-21</b> STOP1はHsfA2とGDHの転写調節を介して低酸素耐性を制御する ○榎本拓央 他7名			<b>5-1-7</b> 土壌特性が植物残渣の分解と蓄積に与える影響 ○渡邊哲弘 他6名
10:45 ~ 11:00					
11:00 ~ 12:00	<b>ポスター発表</b> <b>第3、第5、第6、第9各部門の全て、第4-1、第4-2、第4-4、第7-2、第8-2各副部門</b>				
12:00 ~ 13:30					

9月5日(木曜日)						月日
F 407(精端室2)	G 504(講義室9)	H 共通A棟201	I 共通A棟202	J 共通B棟401	K 共通B棟501	会場
9	7					部門
	<b>7-2-1</b> 鉄資材の施用が茶樹に及ぼす影響 ○小杉 徹 他4名					9:00 } 9:15
	<b>7-2-2</b> Bacillus属細菌を用いたダイズ 土壌伝染性病害抑制技術の 開発 1) Bacillus属細菌 によるダイズ黒根腐病抑制 メカニズムの解明 ○佐藤 孝 他12名					9:15 } 9:30
<b>9-1-4</b> 土壌教育の世界標準を日本 から発信する～国際土壌の 10年の取組～国内外におけ る土壌教育に関する取り組 みについて ○平井英明	<b>7-2-3</b> Bacillus属細菌を用いたダイ ズ土壌伝染性病害抑制技術 の開発2)ダイズ病害抑制能 を有するBacillus属細菌の資 材化における検討 ○見城貴志 他12名					9:30 } 9:45
<b>9-1-5</b> 土壌教育の世界標準を日本 から発信する～国際土壌の 10年の取組～土壌教育強化 に向けてのIUSSの取組みの 現状と課題 ○小崎 隆	<b>7-2-4</b> Mg-Fe-Cl系ハイドロタル サイトの土壌混和がコマツ ナの生育と養分の溶脱に及 ぼす影響 ○伊藤政憲 他2名					9:45 } 10:00
<b>9-1-6</b> 土壌教育の世界標準を日本 から発信する～国際土壌10 年の取組～土壌教育とSDGs ○浅野真希 他2名	<b>7-2-5</b> 多雨条件を模した植物栽培 試験におけるバイオチャー 施用の効果 ○若宮 理 他6名					10:00 } 10:15
<b>9-1-7</b> 土壌教育の世界標準を日本 から発信する～国際土壌の 10年の取組～「光る泥だ んごづくり」は人気があるが、 それを土壌教育へどのよう につなげるか？ ○田中治夫 他2名						10:15 } 10:30
<b>9-1-8</b> 土壌教育の世界標準を日本 から発信する～国際土壌の10年 ～2024年に向けた取り組み～ 現行学習指導要領から未来の土 壌教育の骨組みを考える～国際 学会での発表報告と共に～ ○森 圭子						10:30 } 10:45
						10:45 } 11:00
<b>ポスター発表</b>						
<b>第3、第5、第6、第9各部門の全て、第4-1、第4-2、第4-4、第7-2、第8-2 各副部門</b>						11:00 } 12:00
						12:00 } 13:30

月 日	9月5日(木曜日)				
会 場	A 306(講義室3)	B 309(講義室1)	C 310(講義室2)	D 405(講義室7)	E 406(講義室6)
部 門					5
13:30 ~ 13:45					<b>5-1-8</b> 日本土壌インベントリーの利活用に向けた制度づくりと土壌図の精度向上を目指して—1. アンケート調査に基づく生産者から求められる土壌情報とは?— ○前島勇治 他3名
13:45 ~ 14:00					<b>5-1-9</b> 日本土壌インベントリーの利活用に向けた制度づくりと土壌図の精度向上を目指して—2. 土壌情報なしの土壌倫理は存在しない— ○太田和彦 他1名
14:00 ~ 14:15					<b>5-1-10</b> ミニシンボ:日本土壌インベントリーの利活用に向けた制度づくりと土壌図の精度向上を目指して日本土壌インベントリーの開発とその利活用 ○高田裕介 他5名
14:15 ~ 14:30					<b>5-1-11</b> 日本土壌インベントリーの利活用に向けた制度づくりと土壌図の精度向上を目指して—4. 農耕地土壌図の精度向上に向けた土壌図更新手法の開発— ○神田隆志 他5名
14:30 ~ 14:45					<b>総合討論 (ミニシンポジウム8~11)</b>
14:45 ~ 15:00					<b>5-2-1</b> 半島マレーシアの熱帯林における窒素循環:局所的に異なる2種類の土壌間での比較 ○渡辺伸一 他5名
15:00 ~ 15:15					<b>5-2-2</b> 簡易迅速土壌診断を目的とした農耕地表層土壌の帯磁率の測定 ○森塚直樹 他3名
15:15 ~ 15:30					<b>5-2-3</b> 異なる土壌構造が分布する干拓地土壌の特性 ○西倉瀬里 他1名
15:30 ~ 15:45					<b>5-2-4</b> 東京都府中市の土地利用が異なる土壌の理化学性と微生物活性 ○村上千晶 他2名
15:45 ~ 16:00					
16:00 ~ 16:15					
16:15 ~ 16:30					

9月5日(木曜日)						月 日
F 407 (精端室 2)	G 504 (講義室 9)	H 共通 A 棟 201	I 共通 A 棟 202	J 共通 B 棟 401	K 共通 B 棟 501	会 場
9						部 門
<b>9-1-9</b> 土壌教育の世界標準を日本から発信する～国際土壌の10年の取組～「土の粒」から先へ 神奈川大会における公開シンポジウムの総合討論から考える ○藤間 充						13:30 } 13:45
<b>9-1-10</b> 土壌教育の世界標準を日本から発信する～国際土壌の10年の取組～学習指導要領小学校、中学校理科の改訂に伴う「土」の取り扱い方の変遷と有機的な「土」の学習内容について ○赤羽幾子 他 1名						13:45 } 14:00
<b>9-1-11</b> 土壌教育の世界標準を日本から発信する～国際土壌の10年の取組～神奈川県の中高校生752名に対する土壌アンケート解析結果 ○隅田裕明 他 2名						14:00 } 14:15
<b>9-1-12</b> 土壌教育の世界標準を日本から発信する～国際土壌の10年の取組～地域が教える土のサービス ○波多野隆介						14:15 } 14:30
<b>総合討論 (ミニシンポジウム 4～12)</b>						14:30 } 14:45
		<b>シンポジウムVI 1, 2, 3, 8 部門</b>	<b>シンポジウムV 1, 6 部門</b>	<b>公開シンポジウムIV 4 部門</b>	<b>シンポジウムII 3, 4, 6, 7, 8 部門</b>	14:45 } 15:00
		<b>土壌団粒構造と土壌プロセス 2</b>	<b>水田作の大規模化に対応した土壌物理性の診断と対策 ～データ駆動型水分管理を見据えて～</b>	<b>静岡のスマート農業の今とこれから</b>	<b>理想の農業を追求する ーサステナブルで革新的な食糧生産を支える 基礎研究と現場技術</b>	15:00 } 15:15
						15:15 } 15:30
						15:30 } 15:45
						15:45 } 16:00
						16:00 } 16:15
						16:15 } 16:30